



むらかみ

市議会だより

NO.84

令和7年11月15日



9月定例会	
決算審査	2
一般質問	4
主な議案	12
議案の審議結果	14
議会の活動レポート	16
この人にインタビュー	20

実りと笑顔の大豊作

一向ヶ丘保育園・バケツ稲栽培



市議会だより



成果いか

歳入431億円、歳出398億円となった令和6年度一般会計歳入歳出決算認定が、全議員で構成される一般会計予算決算常任委員会に付託され、総務文教・市民厚生・経済建設の各分科会において、それぞれの所管ごとに審査を行いました。各分科会での決算審査のうち、主な質疑を紹介します。

歳入

市税固定資産税

34億3,601万円

問 固定資産税の収入未済額が市民税の収入未済額と比べ、多くなっている理由は。

答 所有者や納税義務者の死亡により、相続放棄や相続人不明のケースが増えており、収入未済額が増加している。

緊急消防援助隊活動費負担金

106万円

問 能登半島地震の際に消防本部から派遣した37人分の国庫負担金だが、派遣によって消防本部の通常のシフトに影響はないのか。

答 事前に派遣可能な部隊数や人数を関係機関に報告し、シフト調整しており影響はない。

企業版ふるさと納税寄附金

960万円

問 寄附金が前年度から大幅に減った理由は。

答 5年度は1社で1500万円の大口の寄附金があった。6年度は8社からの寄附であるが、大口の寄附がなく大幅に減少となった。

奨学金貸付金収入

1億82万円

問 市の奨学金の新規貸与が増加した理由は。

答 6年度から審査の際の所得制限を撤廃したため、5年度の新規貸与は11人だったが6年度は19人となった。

弁償金

29万円

問 貸与されたタブレットの弁償金の内容は。

答 7台分の弁償金で、小学校2台、中学校5台である。保護者の承諾を得て、故意で壊した場合、使い方が悪いため2度目の破損となった場合に弁償してもらっている。

数刈り払い等地域環境整備支援金

19万円

問 県の交付金による数刈り

払いの内容は。

答 クマの出没防止を図るため、門前川と上海府地区の早川等で数刈り払いを行った。今年度、環境課から農林水産課に所管が変わり、場所など総合的に状況を判断して数刈り払いを実施する。

歳出

生活交通確保対策事業経費

3億2,023万円

再編で大幅な経費圧縮

問 路線バスからコミュニティバスに切り替えた効果は。

答 地域交通の再編を2力年で行っている。4年度と比較して1178万円の増となったが、再編を行わなかった場合は6000万円ほどの上昇が見込まれるため、経費の大幅な圧縮効果があった。

問 料金は安くなったが、便数が減り不便になったのではないかと。乗車率に変化はないか。

答 乗車率はほとんど変わっていない。減便数は運転手の勤務体制を維持できる最小限の本数となる。

問 山北地域の公共ライドシェア「さんぼくん」の利用状況は。

答 5年10月からの1年間で延べ2480人の利用があった。利用者は増えているが、運転手や配車の人員確保が課題となっている。

伝統的建造物群保存事業経費

960万円

問 事業の今後のスケジュールは。

答 文化庁と協議を重ねて進めている。町屋調査が足りないとの指摘があり、6年度に調査を実施し、今年報告書を刊行した。今後、対象区域の住民と意見交換を行っていく。順調に推移すれば、制度導入が進められる。

戸籍住民基本台帳経費

398万円

問 住民票等のコンビニ交付の利用率は。

答 住民票40・08%、印鑑登録証明40・25%、戸籍証明24・58%である。

問 コンビニ交付の導入により、窓口業務の負担は軽減されたか。

答 証明書等の交付は減ったが、戸籍の届出やマイナンバーなど窓口では様々な手続きがあり、窓口業務の負担が軽減された感触はない。

令和6年度 決算審査

事業の

老人ホーム運営経費

1億1,553万円

問 老人ホームやまゆり荘の現状や、今後の運営についての考えは。

答 築40年が経過している。現在の入所者は23人である。老朽化が進んでおり、建て替えも難しいことから、民間の事業者を受けてもらえるか検討している。現在の指定管理が9年度末までであり、そこを目的として考えている。

火葬場運営経費

2,310万円

問 火葬場建て替え計画の進捗状況は。

答 基本構想で、現在の村上火葬場周辺での建て替えが決まっている。今年度中に基本計画を策定する予定である。

急患診療所経費

3,269万円

問 急患診療所の利用状況は。
答 日曜祝日の70回診療を行い、患者数は1379人、1日平均19・7人で、前年度比ではほぼ横ばいである。

問 厚生連村上総合病院との役割分担は。

答 急患診療所は主に発熱や体調不良など小児科と内科に

関わる疾患の診療であるが、検査機器がないため、症状によつては村上総合病院に行つてもらう場合もある。

畜産振興経費

2,200万円

第三者継承で事業継続も

問 村上牛の出荷頭数の状況や、肥育農家の現状は。

答 6年度はA5ランク229頭、A4ランク53頭である。5年度は一時的に減つたが、以前の300頭前後の出荷に戻りつつある。肥育農家の高齢化で担い手確保が課題となっており、第三者継承など事業がつまぐ継続できる仕組みを考えていきたい。

インバウンド特別体験事業委託料

3,000万円

問 インバウンド誘客の取り組みに、成果が感じられない。インバウンド向けの11のツアー実施も満足できる効果があったのか疑問だが。

答 単年で効果を見出すことは難しく、複数年かけて環境を整える必要がある。海外からの誘客に長けた山形県置賜地域や、関川村と共に観光圏エリアとして一緒に取り組んでいきたい。

居繰網漁経費

148万円

問 居繰網漁に従事している方の現状は。

答 9名の方に協力していただいており、10月21日から11月30日の期間のうち実質31日漁を行っている。

問 川漁師が減っており、今後人材の育成も考えなければならぬが。

答 経験のある方に頼っているというのが実情。募集して

もなかなか見つからない。居繰網漁は大事な観光資源であり、予算等の見直しも含めて検討していきたい。

住宅対策経費

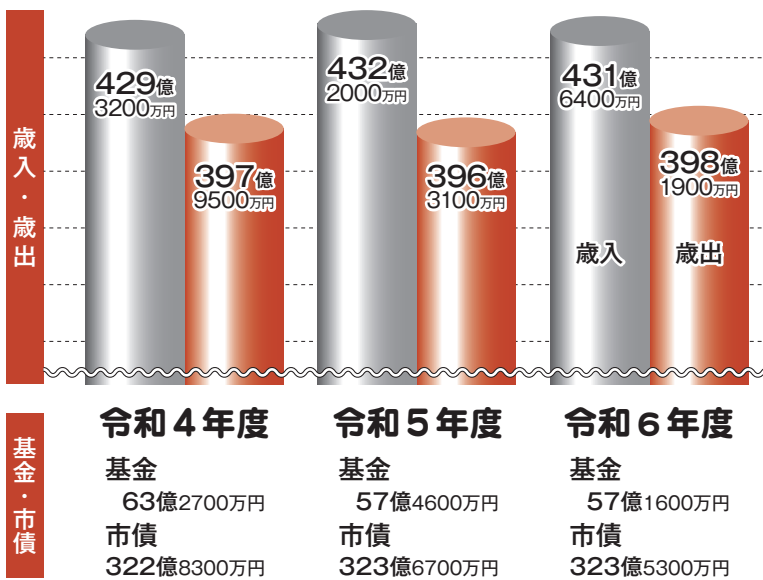
7,218万円

問 市営中川原住宅の建て替え事業が進められているが、入居開始はいつ頃の予定か。

答 今年度の実施設設計を終えるので、8年度からの2力年で工事を行い、10年頃に入居開始の予定である。

過去3年間の一般会計の決算額推移

※金額は100万円未満四捨五入で記載しています。



9月定例会

一般質問は、市の行政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提案を行い、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、掲載された原稿は質問者が作成しています。

一般質問

市政のことが聞きたい

一般質問

1 野村美佐子

1. 保育行政について
2. 災害時の避難支援について
3. 観光事業について

2 新緑会 菅井晋一

1. 道の駅「朝日」リニューアル整備事業について
2. 人口減少対策について
3. 蒲萄スキー場の再建について

3 鷲ヶ巣会 山田 勉

1. 荒川総合体育館の改修工事について
2. 旧香藝の郷の利活用策について
3. 瀬波温泉トンネル先線の早期開通促進について

4 高志会 長谷川孝

1. 村上市及び胎内市沖洋上風力発電について
2. 北前船日本遺産構成文化財の修復・保存・管理について

5 高志会 小杉武仁

1. リチウム蓄電池等の適正処理について
2. 林野火災における対応について
3. ドローン規制緩和国策特区について

6 令和新風会 川村敏晴

1. 荒川流域の豪雨対策について
2. リチウムイオン電池による発火事故対策について

7 新緑会 富樫光七

1. 蒲萄スキー場について
2. 有機農業について
3. 有害鳥獣の解体施設の設置について

8 鷲ヶ巣会 河村幸雄

1. 熱中症対策について
2. 鳥獣被害対策について

9 至誠クラブ 富樫雅男

1. 市内観光関連施設の整備について
2. 窓口の軟骨伝導式集音器導入について

10 令和新風会 高田 晃

1. 社会福祉協議会と協働した地域福祉政策について
2. 下水道資源の有効活用について

11 至誠クラブ 渡辺 昌

1. 移住定住施策と関係人口の創出・拡大について
2. GIGAスクール構想の現状について
3. 朝日総合体育館の耐震化について

12 新緑会 姫路 敏

1. ごみ処理手数料の徴収方法変更について
2. お祭りについて

13 新緑会 上村正朗

1. 高齢者福祉の充実について



働き甲斐のある保育職場に



野村美佐子

- 問** 新しい私立認可保育園の0歳児クラスは定員20人で1クラスだが、一部屋での保育で発達差の大きい月齢の乳児に目が届くのか、市として協議しているのか。
- 答** 保育士は基準以上の配置を検討しており、加えてパーテーションなどで区切り、グループ分けするなど安全性に配慮する計画である。
- 問** 保育士の配置基準が76年ぶりに改定されたが、本市の対応状況は。
- 答** 5園でいずれも1人の増加が必要になったが、今年度当初に配置した。
- 問** 働き甲斐を持つてもらうためにも、正規職員としての採用が必要と思うがいかがか。
- 答** 可能な限り正規職員で



伸び伸び遊んで元気に育て！

- の配置をしたいと考えるが、現状は5人とも会計年度任用職員である。
- 問** 今年6月に総務省から会計年度任用職員の待遇についての改正の通知が出された。会計年度任用職員でクラス担任を受け持っている方が11人と聞いているが、正規職員と同じ仕事をしている会計年度任用職員の給与や処遇はどうなっているか。
- 答** 専門性や資格などで加算をつけてきた。責任に応じて加算や格付けできるように引き続き検証していく。
- 問** 期末勤勉手当についても、県内7市町で正規職員と同じ月数の支給をしている。総務省の通達の趣旨をくみ取り、本市も対応できないか。
- 答** きわめて重要な視点と考える。期末勤勉手当の評価の仕方、傾斜の付け方など検証していく。

準備は万全か、道の駅朝日



- 問** 道の駅「朝日」リニューアル整備事業は日本海国土軸の重要拠点として、宿泊機能、入浴施設、食堂や地中熱・太陽光パネルを採用した蓄電システムなど災害時でも対応可能な施設である。その進捗状況と、国が選定する「防災道の駅」指定に向けて取り組む考えはないか。
- 答** 現在、駐車場の造成工事が進み、本体建設工事入札を10月7日に行い、9年9月オープンを目指す。
- 道の駅朝日は立地特性を踏まえ、地中熱と太陽光パネルを活用した蓄電システムを含むエネルギー自給機能を備え、単独で72時間は避難所と



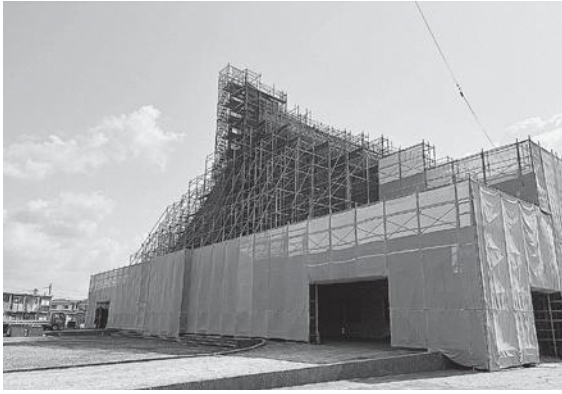
令和9年9月リニューアルオープンをめざし造成工事が進む「道の駅朝日」



菅井晋一

- して機能する施設となり、防災道の駅指定はもとより、広域的な防災拠点となるよう関係機関と連携を図る。
- 問** 道の駅管理運営候補者の選定作業が始まるが、審査基準はハイレベルな評価項目、審査視点が定められている。保育園の民間への管理移行では、すべて市外の事業者が運営する方向で進んでおり、道の駅朝日も市外の事業者が選定されることを憂慮している。地元の産業経済事情に精通している市内の事業者が審査評価で加点されるようなことはできないか。また、市外の事業体に頼ることなく、圏域で自主自立する経済活動の仕組みができないか。
- 答** 市内の事業者限定では募集していない。東北へのゲートウェイとして管理運営していくために必要な点から選定していきたい。

荒川総合体育館の大規模改修



事業費が膨らむ改修工事(本年4月現在)

問 荒川総合体育館の大規模改修工事について、当初4億6190万円の事業費だったが、一連の追加工事で事業費は6億3050万円の膨らみ、体育館の供用開始は当初の本年9月から令和8年4月に遅れると新聞でも報道されている。増工となった原因と今後の事業の進め方は。

答 6年8月に執行した入札で設計書に誤った工法等を記載していたことにより不調となり、不足した工事費用を補正し工事に着手した。工事を進めていく中で、実施設計時点で把握できなかった追加工事や想定以上の劣化が確認され、必要な経費を



山田 勉

補正させてもらった。供用開始は8年4月以降になると考えている。また、武道場外壁の劣化も激しいことが確認されたため、改めて調査を行い8年度事業として予算計上を検討していきたい。

問 旧香藝の郷の活用に向けた進捗状況は。

答 昨年度、民間活力の導入に向けた調査、検討を進めてきた。本年度は国土交通省の「先導的官民連携支援事業補助金」を活用し、事業化に向けた詳細な調査を行っている。

問 瀬波温泉トンネル先線の事業進展が見られない。1日も早く開通するよう期待しているが状況は。

答 県としては松山バイパス整備を優先したい考えだが、瀬波温泉トンネル先線の早期事業化に向けても引き続き、力強く要望していく。

O&M港としての共生策



長谷川 孝

問 昨年11月7日に開催された村上市および胎内市沖における第4回協議会において、今後の協議会の運営にあたっては、協議会の円滑な進行を図るため、実務的専門的な内容に関する議論を行う場合等において、実務者会議等を設置の上議論できることとし、その内容は協議会に報告すると決定された。この実務者会議の開催については、利害関係者である漁協関係者や村上市長からも早急の開催が切望されている。実務者会議は開催されたのか。

答 現在、開催に向け発電事業者を含む関係者間で、漁業影響調査や共生策に関する協議を進めている段階であり、今後調整が整い次第、国および県に対して速



円滑な事業進行を期待

やかに実務者会議の開催を要請する。
問 O&M(※)港としての岩船港の役割と地域経済への具体的な波及効果を最大化するには、具体的にどのような技術を地元企業に移転できるか。

答 地元事業者への技術移転については、風力発電施設のメンテナンスや部材の調達・供給などO&Mに関連し多岐にわたる業務が期待できるものと認識しており、今後は「村上市・胎内市沖洋上風力発電事業村上事業連携連絡協議会」と連携し、地元事業者の技術提供や技術者の養成、地元での採用などを進めることで地元事業者が参画するサプライチェーンの構築を目指す。

※O&Mとは？

オペレーション&メンテナンスの略で、運転管理や維持管理業務を行う事業のこと。

革新をもたらす特区認定



小杉武仁

問 ドローンは様々な分野への活用が期待されており、本市でも農業・林業・体験・スクール・災害時の活用など、ドローンを使用する事例が増えている。しかし、国からドローン利用者が認可を受けるには、多大な手間と時間がかかり、特区による規制緩和が望まれている。

広大な面積を有する本市の地域特性を踏まえ、国家戦略特区認定を受けることで、防災・減災施策の拡充をはじめ、さまざまな産業分野や市民生活の向上に恩恵があると感じるが、積極的に検討する考えは。

答 ドローンは幅広い分野での活用が期待され、本市においても有害鳥獣探知や災害時に被害状況の把握な

どに活用している。

災害時の迅速な状況把握や物資輸送、インフラ点検面での活用価値が大きいと認識しているが、用途や飛行形態ごとに異なる申請・認可が求められ、手続きが煩雑なために許可取得に時間を要する課題もあり、円滑な活用を進めるために手続きの簡素化・統一化など、制度の柔軟化を図っていく必要があると考えている。ドローンの活用による防災・減災施策の拡充のみならず、産業分野における安全性と生産性の向上、物流の安定供給、インフラ点検の高度化やスマート農業の振興につながると捉えており、関係府省庁に対し運用手続きの簡素化・一元化を求め、特区認定も視野に検討していきたい。



多目的な活用に期待されるドローン



通学路の安全確保を

問 二線堤完成後に災害が発生した際の農作物被害補償は。

答 二線堤により農地が冠水し農作物に被害が出た場合は、被害状況に応じた補償を行うこととし、農地被害の復旧と共に県と協議している。

問 春木山大沢川復旧工事で通学路変更となっている徒歩通学児童の降雪時の安全対策は。

答 積雪状況により迂回ルートの交通状況等を勘案しながら、ルート変更やスクールバス送迎による対応を検討している。

問 ゴミ収集作業中に収集車から、リチウム蓄電池等の発火が原因で火

災が発生し車両に損害が発生した場合の対応として、自動車保険の車両保険の経費等を業務委託料に上乗せすることはできないか。

答 事業者とも問題意識は共有しており、市としては来年度からリチウム蓄電池など発火性の高い物は、圧力のかかるパッカー車でない、荷台がオープンな車両による収集に変え、収集時の火災リスクを軽減する方向で計画している。

問 環境省から一般廃棄物事業について、労務費の適切な転嫁の為の価格交渉に関する指針が都道府県知事へ通知され、各自自治体に通達されたと聞いたが承知しているか。

答 行政でやるべき業務を事業者に委託しているので、必要な措置をしなくてはならないと承知している。



川村敏晴

二線堤完成後の被害補償は



蒲萄スキー場の再生は



問 今年3月に閉鎖した蒲萄スキー場に、都内の事業者から運営を行いたいとの申出があったが、その後の進捗状況は。

答 新たに本市に参入する企業誘致案件としての支援を、前向きに検討している。ご提案いただいた事業計画書は非常に意欲的で、スキー場の経営に加えて、通年型のリゾート事業の計画もある。スキー場は今冬、7年度シーズンからの運営を想定しているので、市としても直ちに検討して市の方針を決定した。

その旨を事業者、蒲萄集落、地権者の皆様にお伝えし、ご検討いただ



棚田から臨む夏の蒲萄スキー場



富樫光七

いているところである。その結果を踏まえ、事業者が計画どおりに事業を進めることが出来るように支援していく。

問 8年度に取り組むこととしている有機農業のオーガニックビレッジ宣言に向けての進捗状況は。

答 有機農業実施計画の策定に向けて情報収集を進めると共に、市内で有機農業に取り組んでいる農業者に対し、取り組みの状況や課題および生産拡大の可能性等についてヒアリングを行った。この事業においては、試行的な取り組みも対象であることから、実証ほ場における栽培技術の研修会や、市民への啓発に関する講演会の開催を実施していきたいと考えている。

災害級のこの暑さ 対策は



問 熱中症による救急搬送の状況と発生場所は。

答 7年9月8日現在、市消防本部管内での熱中症による救急搬送件数は69件で、うち市内は61件である。すでに昨年1年間の搬送件数である46件を大きく上回っている。内訳は65歳以上の方が49人で全体の7割以上を占めている。

問 企業への支援制度は。

答 事業者に対し、空調設備の新設等、従業員が働きやすい環境整備として村上市人材確保・定着支援事業補助金による支援や村上市省エネ設備導入支援補助金を活用し、事業者が省エネ性能の向上を目的とした既存設備を更新することで熱中症対策を支援している。今後は市内事業者を対象と



河村幸雄



職場や地域みんなで熱中症予防の取組を

した実態調査を通じて、経営状況や支援ニーズの把握を行い、既存制度の見直しや新たな支援策の検討を進めていきたい。

問 小中学校における取り組み状況は。

答 熱中症警戒アラートの確認や暑さ指数に応じて、活動の中止や活動内容、場所の変更を判断したり、児童生徒の様子を観察し水分補給や休憩を指示したりしている。日常生活でも体調管理の大切さや帽子の着用、服装での体温調節、不調を感じたらためらわずに訴えることなどを指導している。学校施設については、本年度は全ての中学校の特別教室にエアコンの設置を行い、小学校の特別教室は来年度以降、順次計画的に設置していきたい。

観光施設整備で地域活性化を



富樫雅男

問 市内観光産業の経済的な波及効果の推計値は。

答 県の分析ツールで推計すると、6年度で約365億円となる。

問 観光施設の整備計画は。

答 道の駅朝日は9年9月のリニューアルオープンに向けて準備中である。瀬波の旧香藝の郷は、国土交通

省の支援事業補助金を活用し、事業化に向けた調査を進めている。その他にも村上駅周辺まちづくり事業、

洋上風力発電事業等を控え、既存の観光資源との相乗効果

を創出できるように市内各地の観光スポットと連携したPRに取り組んでいく。

問 塩谷の稲荷山にある老朽化した展望台の補修について、地元と協議を進める考えはあるか。

答 北前船関係者との視察の中でも修復の要望があり、地元の方との話し合いを進めたい。

問 聞こえづらい高齢者とのコミュニケーションが円滑に図れ、衛生面でも優れる軟骨伝導式集音器を設置する市役所等が増えている。本市も早期の導入に向けた考えはあるか。

答 3月に企業版ふるさと納税で寄附された骨伝導式集音器を福祉課窓口

に設置し、利用者から好意的な意見をいただいている。

問 骨伝導式、軟骨伝導式ともに来庁する方に体験していただく取り組みをしてはいかがか。

答 窓口での利便性を高めることは大切な事と認識しており、検討してみたい。



観光案内板でイメージアップ

赤字経営が続く通所介護事業



問 社会福祉協議会（社協）の運営が厳しくなっている。特に通所介護事業においては、利用者の減少による赤字状態が続いており、全体の経営を圧迫し、職員の収入にも影響を及ぼしている。今後の市の支援策は。

答 社協に運営をお願いしている通所介護事業が厳しい経営環境に置かれていることは認識している。市としては、通所介護事業の赤字要因を調査・分析した上で、経営改善に必要な対策を講じ、必要な支援について検討する。

問 市内5か所のデイサービスセンターの指定管理は利用料金型になっ

ているが、指定管理を受託した平成15年・18年頃と今とでは状況が変わっている。社協からは、指定管理の方法を利用料金型から利用料金併用型に変更できないかとの要望が出ているが。

答 現在の指定管理期間は、ガイドラインに定めている4年度から8年度となっている。次期期間をどうするのにかについては、運営費などを勘案しながら、その時点で変更できるかどうか検討したい。

問 5施設一括での指定管理を利用料金型と利用料金併用型に分類しての指定管理は可能か。

答 以前は個々に協定していた時期もある。今後は通所介護事業としての赤字の要因を調査分析して、経営改善できるのであれば、社協と協議していきたい。



高田 晃

社会福祉協議会への支援



関係人口拡大への現状は



問 関係人口がもたらす成果・効果についての認識は。

答 本市への興味や関心を持たれた方や、遠方に住む本市出身の方と関係性を深めることで、多様な人材が本市を訪れ、イベントや地域づくりに参画するようになる。こうした動きは地域の活性化につながり、また、将来的に移住定住につながるものと期待している。

問 本市における取り組みの現状や課題は。

答 メールマガジン「むらかみファン倶楽部」で地域情報を発信するほか、神林・山北地域では地域まちづ



本市出身者は大事な関係人口
(市が東京で開催した本市出身学生らとの交流会)



渡辺 昌

くり組織等が主体となり、地域の特性をいかした取り組みを進めている。また、「新潟むらかみ学生応援便」では、本市出身者とのつながりを育む重要な施策に位置づけている。

効果的な情報発信方法などの課題も顕在化しており、各種施策の効果的な連動や、地域まちづくり組織等とも一層の連携を図りながら、取り組みの改善・推進に努めていく。

問 ふるさと納税制度は関係人口創出のツールとして重要であり、同制度でつながった関係を持続し、深化していく仕組みが必要ではないか。

答 現在は、リピートしていただける返礼品の案内や観光情報の配信を行っているが、今後、ご寄附いただいた方が本市と継続的な関係を築けるよう、関係人口につながる情報発信についても検討していく。

百害あって一利なし！



問 本年6月第2回定例会で、私からごみ処理手数料の徴収方法を、シール方式に替えないで、ごみ袋方式を継続することを前提に、さまざまな提案を行ったが検討はされたのか。

答 前回提案のあった、バイオマスごみ袋の本市における作成費用や、一括納品の手法などについて調査を行っているところである。

問 シール1枚をいくらかで販売しようとしているのか。

答 価格はこれから決めるが、現在のごみ袋方式では運用益が3千万円ある。これがごみ回収業務経費3億円に充当されており、充当率は9・9%となっている。シール方式では、充当率20%で運用益6千万円を考慮して価格設定を行う予定で



姫路 敏

ある。

問 ごみ袋は年間約240万枚利用されているので、試算するとシール1枚25円となる。また大45ℓ袋は1枚約15円で市販されている。そうすると市民はシール25円、ごみ袋15円で購入することになるので、今より高くなってしまう。つまり負担が増えるということである。また、ごみ袋方式が採用されて20年以上が経過し、市民も回収業者も黄色いごみ袋の取扱いに慣れており、困惑する市民もいる。シール方式は「百害あって一利なし」と言わざるを得ない。それでもシール方式に替えるのか。

答 まずは実証実験の結果をみてどうするか検討したいと思う。



黄色いごみ袋に手慣れている作業員

高齢者福祉の充実を



上村正朗

- 問** 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況と課題は。
- 答** 概ね計画どおりに進んでいる。高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けられるように地域包括ケアシステムの深化と推進が課題である。
- 問** 支所に包括支援室を設けることを検討すべきでは。
- 答** 検討したい。
- 問** 介護事業所の介護人材確保の実態把握を行うべきでは。
- 答** 次期の計画策定の時期に実施すべく検討したい。
- 問** 小中学生の時期に介護の魅力に触れる機会をつくるべきでは。
- 答** 検討したい。
- 問** 地域の介護人材を掘り起こすために就職支援金を



介護現場の担い手確保を

- 検討すべきでは。
- 答** 研究したい。
- 問** 外国人の介護人材受入の実態を把握して支援を行うべきでは。
- 答** 実態を把握して検討したい。
- 問** 山北地域全体が特別地域加算の対象になるよう国に要望すべきでは。
- 答** 要望していきたい。
- 問** デイサービスセンターゆり花荘について、住民サービスの向上と経営の効率化を両立させるため、日曜に営業する代わりに平日2日間を休業日とすべきでは。
- 答** 社会福祉協議会と協議する。
- 問** 成年後見制度の利用促進を図るため、社会福祉協議会を中核機関に位置づけ機能強化すべきでは。
- 答** その方向で検討する。

全国から行政視察においでいただきました

令和6年度 行政視察受け入れ状況

村上市議会では全国の議会から行政視察の受け入れを行っています。6年度には11議会を受け入れました。

No	視察日	議 会 名	視 察 内 容
1	4月4日	東京都荒川区議会（12人）	村上総合病院について
2	6月27日	福島県檜葉町議会（15人）	内水面漁業（鮭漁）の現状について
3	7月11日	長崎県議会（1人）	村上市スケートパークについて
4	8月21日	新潟県議会（15人）	中学校の部活動地域移行について
5	10月10日	茨城県筑西市議会（11人）	議員定数の見直しについて
6	10月16日	新潟県加茂市議会（7人）	部活動地域移行について 村上市スケートパークについて
7	10月29日	兵庫県朝来市議会（1人）	部活動地域移行の取組について
8	10月31日	徳島県石井町議会（12人）	部活動の地域移行について 田んぼダムについて
9	11月7日	岩手県二戸市議会（7人）	村上市スケートパークについて 歴史的背景を活用したまちづくりについて
10	11月20日	和歌山県日高川町議会（8人）	村上市議会の防災・災害対策について 村上市議会のデジタル化・ペーパーレスの取組について
11	1月17日	福島県喜多方市議会（10人）	議員定数の見直しについて
計		11議会（延べ99人）	

朝日地域の2校を統合し、あさひ小学校に

議第76号 村上市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

問 小川小学校と朝日みどり小学校を統合してあさひ小学校を設置するものだが、地域から3校一緒に統合をという要望もあった中で、2校統合を先行するとした経緯は。

答 統合検討会の中でも3校同時統合が検討され、それを受けて朝日さくら小学校区に意見を求めたが賛成と反対の意見が拮抗し、最終的に2段階による統合との結論に至り、2校の統合を先行して進めることになった。

問 この条例施行は9年4月1日からということになっているが、今定例会で条例改正する理由は。

答 来年度の加配教員について県に申請する期限が迫っているため、この時期となった。

9月定例会

令和7年村上市議会9月定例会は、9月2日から30日までの29日間の会期で開かれました。
この定例会には、市長から条例改正や補正予算など議案38件、議会側提案の請願や議員発議など6件が提出されました。

奨学生の連帯保証人に市外の方も可能に

議第77号 村上市奨学金貸与条例の一部を改正する条例制定について

問 奨学金貸与の際の連帯保証人に市外の方も可能とする改正であるが、利用者からの要望によるものか。

答 条例で連帯保証人は市内に住所を有する者と規定しているため、奨学金の対応ができなかった事例が1件あったことから、選考委員会での協議を経て改正を行うもの。

ぶどうスキー場の施設を民間事業者に無償貸与

議第105号 市有財産の無償貸与について

ぶどうスキー場の継続に向け、スキー場の土地・建物等を民間事業者（株式会社シンクファースト）に3年間無償貸与します

問 契約書では、災害等が発生した場合には事業者の責任と費用により復旧を行うとなっているが、スキー場運営に起因するものだけでなく、広く自然災害も含むのか。

答 自然災害については、事業者が保険に加入し対応することが責務と考えている。

問 市の財産であるレンタルスキーやリフトなどを無償貸与する訳だが、スキー場を利用する子どもたちや市民に何らかの恩恵はあるのか。

答 運営に関する内容については事業者と詰めていない。



令和7年度一般会計補正予算

学童保育所でオンラインでの体験活動を導入

学童保育経費 621 万円

問 オンライン体験活動業務委託料と機械器具購入費だが、事業の目的は。

答 県の放課後児童クラブ等の支援事業への交付金により、インターネット等を利用してリモートで体験活動を行うことにより、学童保育所での活動を充実させ子どもたちが満足して過ごせることを目的とした事業である。

荒川総合体育館の事業費を増額

体育施設経費 1 億 3,400 万円

問 武道場の改修も含めると、事業費がほぼ倍近くなる。そもそも当初から荒川総合体育館の改修を4億7,000万円の予算で行おうとしていたのか。

答 耐震改修・大規模改修にあたっては耐震化を第一に、また、築50年以上経っているため利用上の安全面を最重要視して設計をした。ただ、工事を進める間に不測の事態により追加工事が必要となったため、補正予算での対応となった。

問 設計とはかけ離れた金額で予算が膨らんでいく事態は、何が原因と考えているか。

答 設計の段階で、築50年の建物の改修であることの認識が不十分であったことが大きな要因である。設計段階で徹底的に設計業者と市担当者で、しっかり対応していくべきだったと反省している。

問 倍増となる改修費の財源はどうなるのか。

答 過疎対策事業債を充当するよう財政課と協議している。

令和6年度特別会計決算

議第99号 村上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

問 国民健康保険税の収入未済額が調定額に対して3倍くらいとなっている理由は。

答 国民健康保険税は前年度の所得に応じて賦課されるが、納税相談の際、仕事を辞めて収入がない、病気で仕事をする事ができない等の相談を受けることが多く、そのような世帯で滞納繰越がある場合には、滞納繰越の方から先に納付してもらうことから現年度の納付が下がることによる。

議第104号 村上市下水道事業会計決算認定

問 上水道事業会計とは異なり、下水道事業会計では市中銀行からの借入等、金利を下げようとする取り組みがされているが、その理由は。

答 下水道事業には資本金平準化債という起債があり、借り換えの際に市中銀行等の有利な金融機関への借り換えを行っている。

議案審議結果

◎＝全会一致で可決、承認、採択 ○＝賛成多数で可決 ×＝賛成少数で不採択

議案番号	議 案 名	結果	議案番号	議 案 名	結果
請願第7号	後期高齢者にも国民健康保険と同じ人間ドック助成を求める請願	◎	議第86号	村上市集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について	◎
請願第8号	インターネット上の人権侵害に対し速やかな措置を求める意見書の提出を求める請願	◎	議第87号	村上市合併処理浄化槽設置整備事業に係る個別浄化槽の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	◎
請願第9号	環境改善補助金制度を早急に創設することを求める請願	◎	議第88号	公の施設に係る指定管理者の指定について（中倉農村公園）	◎
議員発議第7号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	◎	議第89号	令和7年度村上市一般会計補正予算（第7号）	◎
議員発議第8号	私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書の提出について	◎	議第90号	令和7年度村上市情報通信事業特別会計補正予算（第2号）	◎
議員発議第9号	インターネット上の人権侵害に対し速やかな措置を求める意見書の提出について	◎	議第91号	令和7年度村上市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○
議第73号	専決処分の承認を求めることについて（専第16号 令和7年度村上市一般会計補正予算（第5号））	◎	議第92号	令和7年度村上市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○
議第74号	専決処分の承認を求めることについて（専第17号 令和7年度村上市一般会計補正予算（第6号））	◎	議第93号	令和7年度村上市簡易水道事業会計補正予算（第1号）	◎
議第75号	村上市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例及び村上市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	議第94号	令和7年度村上市下水道事業会計補正予算（第2号）	◎
議第76号	村上市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	○	議第95号	令和6年度村上市一般会計歳入歳出決算認定について	◎
議第77号	村上市奨学金貸与条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第96号	令和6年度村上市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第78号	下越福祉行政組合規約の変更について	◎	議第97号	令和6年度村上市情報通信事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第79号	村上市旧ごみ処理場解体工事の工事請負変更契約の締結について	◎	議第98号	令和6年度村上市蒲萄スキー場特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第80号	公の施設に係る指定管理者の指定について（村上市し尿処理場）	◎	議第99号	令和6年度村上市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第81号	公の施設に係る指定管理者の指定について（向ヶ丘保育園、みのり保育園）	◎	議第100号	令和6年度村上市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第82号	市道路線の認定について（松喜和22号線）	◎	議第101号	令和6年度村上市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議第83号	村上市水道条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第102号	令和6年度村上市下水道事業会計決算認定について	◎
議第84号	村上市簡易水道条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第103号	令和6年度村上市簡易水道事業会計決算認定について	◎
議第85号	村上市下水道条例の一部を改正する条例制定について	◎	議第104号	令和6年度村上市下水道事業会計決算認定について	◎
			議第105号	市有財産の無償貸付について	◎
			議第106号	令和7年度村上市一般会計補正予算（第8号）	◎

※網掛けは賛否が分かれた議案で、詳細は下段のとおりです。

各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた網掛けの議案について、議員の賛否を公表します。

◎：会派の代表者 *：会派の経理責任者

議案番号	高志会					鷺ヶ巣会				新緑会				令和新風会			至誠クラブ			野村美佐子	賛否結果	
	◎尾形修平	*小杉武仁	長合川孝	鈴木一之	魚野ルミ	◎大滝国吉	*鈴木いせ子	山田勉	河村幸雄	◎菅井晋一	*上村正朗	富樫光七	姫路敏	◎川村敏晴	*高田晃	佐藤憲昭	◎渡辺昌	*富樫雅男	三田敏秋※1		賛成	反対
議第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	18	1
議第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	—	×	15	4
議第91号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	18	1
議第92号	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	18	1

※1 議長は地方自治法第116条第2項の規定により表決に参加していません。

請願の審議結果

請願は本会議で採決が行われ、過半数の賛成により採択されます。

件名	紹介議員	付託委員会	審議結果
後期高齢者にも国民健康保険と同じ人間ドック助成を求める請願	菅井晋一	市民厚生 常任委員会	採択
インターネット上の人権侵害に対し速やかな措置を求める意見書の提出を求める請願	姫路 敏	市民厚生 常任委員会	採択
環境改善補助金制度を早急に創設することを求める請願	河村幸雄 姫路 敏	市民厚生 常任委員会	採択

陳情の審査結果

陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で願意了承となります。

件名	所管委員会	審査結果
「私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	総務文教常任委員会	願意了承
国に防衛力強化の一環として、食料安全保障を重要視することに関する陳情	県外からの郵送による陳情は、原則として委員会で審査せず、全議員への配布にとどめる取り扱いとしています。	

意見書

◎ 私立高校の学費負担軽減と専任教員増を促進するため、私学助成の増額・拡充を求める意見書

◎ インターネット上の人権侵害に対し速やかな措置を求める意見書

上記の意見書が本会議で可決され、関係行政庁に送付されました。



請願・陳情の手続き

～提出締め切りは定例会初日の14日前です～

市政に関する意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。
提出された請願書や陳情書は、定例会ごとに開催する常任委員会で審査され、請願書については最終的に本会議で採決されます。

市議会に請願書や陳情書を提出される方は、次の要領で提出してください。

〇〇〇〇に関する請願（陳情）

請願（陳情）の要旨

請願（陳情）事項

1

2

3

年 月 日

村上市議会議長 〇〇〇〇様

郵便番号

住所

氏名

連絡先（電話番号等）

※請願の場合は紹介議員

- ① 件名、要旨、請願（陳情）事項を記載してください。
- ② 提出者は、住所・氏名・電話番号を記載し、署名または記名押印してください。（法人の場合は、名称および住所などを書き、代表者が署名または記名押印してください。）
- ③ 請願書には、紹介議員1人以上の署名または記名押印が必要です。
- ④ 陳情書は、紹介議員の署名等の必要はありません。ただし、陳情書は議会の本会議での採決は行わず、所管常任委員会での審査のみとなり、常任委員全員の了承で願意了承となります。
- ⑤ 請願書・陳情書は、随時提出可能ですが、年4回（3月、6月、9月、12月）の各定例会で審査するために、定例会ごとに締切日を設けています。
【締 切 日】定例会招集日の14日前（祝祭日の場合はその前日）の正午まで
【受付場所】村上市役所4階 議会事務局
- ⑥ 請願書の審議結果については、郵送でお知らせします。陳情の審査結果に関しては、市内の方からのものは、郵送でお知らせします。その他の方については、ホームページでお知らせしています。結論が出ない場合は、継続審査となる場合もあります。

議会の活動レポート

地域を見る、聞く

部活動地域移行の課題を共有

8 / 22

総務文教常任委員会

今年度で部活動地域移行の改革推進期間が終了し、8年度から部活動が地域クラブに完全移行されることから、総合型地域スポーツクラブ、中学校教諭、地域クラブ指導者、保護者の方々からご意見を伺いました。

生徒や保護者の負担増

●市内にある22クラブのどこに所属するかを生徒たちが選択しなければならぬ

●地域を越えたクラブに通うには保護者の負担が増える

指導者の確保が課題

●学校を終えて夕方4時以降に活動するには、移動や活動の時間、指導者の確保等の問題をクリアしなければならない

●指導者への謝金が高額なため、文部科学省の補助金が終了する8年度以降の予算措置が必要

●吹奏楽などの文化部は運動部以上に指導者の確保が難

しく、市の方針を示してほしい

指導者の資格要件

●中体連の大会出場には公認資格を持った指導者でなければ引率できないが、資格取得の費用は自己負担である

●中体連の大会を目指すより、各競技団体主体の大会や、地域展開を進める方向性が必要ではないか

他に体育館の酷暑対策、指導者としての公務員や教員の協力体制、生活困窮世帯児童への支援などについても意見が出され、改めて課題が山積していることを確認しました。



訪問介護の現状と課題は

8/6 市民厚生常任委員会

訪問介護の現状等について、介護高齢課と訪問介護事業所より説明を受け、現状と課題を把握した後、今後の対応や方策に関して意見交換を行いました。

事業所支援金を創設

「訪問介護の基本報酬引き下げに伴う市の施策」について、介護高齢課から説明を受けた後、質疑と意見交換を行いました。

6年度に国が訪問介護の基本報酬を切り下げたことを受けて、市では事業所支援金を設けて基本報酬の差額を支給するとともに、訪問車両の燃料費を補助する制度を作りました。施策の財源は第一号保険料を充てているとの説明でした。

そのほか課題として委員より、ヘルパーの高齢化に対応して早急に人材確保対策が必要だとの意見がありました。



ヘルパーより施設勤務

訪問介護事業所からはヘルパーの現状や、利用者数、業務上の課題について伺い、質疑と意見交換を行いました。

ヘルパーのなり手不足について、若い方が少ない理由として、介護施設では夜勤手当があり収入が多いため、若い方はヘルパーより施設勤務を選ぶのではないかと説明がありました。

また、冬期間、訪問車両を駐車するための除雪が大きな負担になっており、何らかの対策が必要との意見がありました。

渇水の被害を緊急視察

8/5 経済建設常任委員会

災害級の高温少雨による水稲への被害状況と対応策について、緊急現地調査を行い、農林水産課から説明を受けました。

水稲の深刻な影響を確認

市内の山間部では、長期の水不足により、田面のひび割れや稲が枯れるなどの被害が出ており、生産者から収量への影響を心配する声が多くなっているとのことでした。

被害状況を確認した水田の作付品種はコシヒカリでしたが、渇水の影響で例年より生育が遅れている状況も確認しました。

官民連携による給水支援

市内各所に存在するファームポンド（※）では、必要とされる貯水量のおよそ10%程度だったことから、災害協定を結んでいる村上市建設業協会と国土交通省が連携し、ファームポンド

に給水支援を実施しています。

また、山北地域での日沿道工事関係者による給水支援のほか、朝日地域では消雪パイプを活用して給水を試みたとの報告でした。

さらなる自然災害対策を

今後も、猛暑や気候変動に対応できる現場視点の施策が求められます。今年8月の大雨でも深刻な被害状況となっており、自然災害を想定した抜本的な対策についての議論を深めていきます。



森林基幹林道の進捗を調査

9/25

村上市議会では関川村議会と共に、森林基幹林道岩船東部線の早期完成に向けて議員連盟を設立し、毎年関係機関への陳情活動や現地調査を行っています。

岩船東部線は計画延長21・89キロメートルで、7つの工区に分けて新潟県が工事を進めており、このうち10・479キロメートル（進捗率48パーセント）が完成し、赤沢工区と笹平工区がそれぞれ

4年度と6年度に供用を開始しています。

今回は、昨年度完成した門前工区の橋梁等を現地調査し、県の担当者から説明を聞き、上山田方面への開設工事推進の必要性を再確認しました。

現地調査後には議員連盟の総会が開催され、県から近年の資材高騰や労務単価の上昇等により、今後の事業費や事業期間の見直しが必要との説明がありました。

本事業の推進のため、地元熱意が重要であると認識を新たにしました。



森林基幹林道岩船東部線
開設事業促進議員連盟

日沿道延伸へ意見交換

10/10 高速交通等対策特別委員会

日沿道山北地区活性化促進協議会による「地域経済講演会」がさんぽく会館で開催され、当特別委員会の委員8名も出席しました。

はじめに国土交通省新潟国道事務所等から朝日温海道路の進捗について講演があり、その後懇談会となりました。各委員が高速道路整備の課題や早期延伸のポイントにつ

いてそれぞれ所見を述べたのち、出席者で意見交換を行いました。

日沿道延伸は目的ではなく手段であり、開通後に通過点とならないため、人口減少を見据えた地域づくりや、地域資源を生かした交流人口拡大の取り組みが重要であると再認識しました。



※ファームポンドとは？
農業用水を安定供給するための貯水施設のこと。

高校で議会の役割を講義

10/10

県立村上高校において、1学年の生徒を対象に「むらかみ出前講座」が行われ、市議会からも「市議会の役割と仕組み」のテーマで、議会の役割などのほか、議員のなり手不足の課題や18歳選挙権について、議会広報特別委員会委員が講義しました。

生徒の皆さんは、村上駅周辺まちづくり事業や鳥獣被害対策など合わせて8つの講座から1つを選択し、市の取り組みの現状や課題を学びました。



岩船林業振興祭に参加

10/2

森林整備の推進や林業振興を図る「第65回岩船林業振興祭」が山北地域で開催され、林業関係者や地域の住民と共に、当市議会からも多数参加しました。

さんぽく小学校の5・6年生の皆さんと共に、スギ苗木200本を植樹しました。

式典では、山北緑の少年団をはじめ地域の緑化活動に貢献された団体と個人の方が表彰されたほか、実行委員会より記念品として、市産材のスギで作られた積木セットが山北そらいろ保育園に贈呈されました。

式典後には荒川地内の林地に移動し、式典参加者や



赤い羽根共同募金 六斎市で街頭募金活動

買い物客で賑わう六斎市で募金活動が行われ、大滝国吉副議長が街頭に立ち、募金を呼びかけました。大勢の皆様から温かいご支援をいただきました。



歴史の証人 船絵馬の保存

7/1 議員有志による政策勉強会

議員有志15名が参加し、現存する船絵馬が集積する山北地域と上海府地区の区長会、まちづくり協議会の皆さんと北前船・船絵馬の保存と活用策について意見交換会を開催しました。

北前船と船絵馬の周知

山北地域の有識者から北前船に関する歴史的考察と題して講演をいただいた後、意見交換を行いました。

出席者からは「修復が難しいものもあり、保存も大事ではあるが、江戸時代に多くの廻船問屋が存在した歴史的史実を後世に伝えることが重要ではないか」との意見がありました。

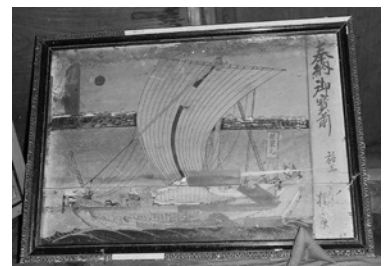
議員からは「地元の船絵馬は、その地域の歴史的背景を考察する意味で地元に残すべきであるが、地元の北前船日本遺産認定への住民意識が薄いのではないか。子どもたちの学習機会への参画や住

民への周知が必要ではないか」との意見がありました。

観光面での活用も

上海府地区では「市に寄贈し保存してもらうのが望ましい。今の段階では、この地区の船絵馬をきちんと把握し、修復できるかの判断を市に示してほしい」との意見がありました。

また、議員からは「地元の考えから、保存収蔵が可能な場が確保できないと地元保存にこだわらないとの気持ちを感じたので、旧香藝の郷など観光と結び付けた施設整備も考えられるのでは」との意見等がありました。



山北地域今川集落の船絵馬

地方議会議員のなり手不足を考える

8/27・28 全国市議会議長会研究フォーラム

北海道札幌市において、全国から2452名の市議会議員が参加して研究フォーラムが開催されました。当市議会からも議会議長が参加しました。

27日には、伊吹文明元衆議院議長による基調講演後、「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」を

テーマに、パネルディスカッションが行われました。翌28日には、「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」をテーマとした課題討議が行われました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

地方議員のなり手不足が全国でも進んでいます。課題解決のためには、危機感を持ちながら日頃の議会・議員活動の情報発信により、市民に関心を持ってもらうことが重要です。また、将



来の不安から選挙への立候補を諦めることなどがないよう、適正な議員報酬や厚生年金への加入など、議員の処遇改善が必要です。併せてICT化を進めて、育児や介護をしながら議員活動ができるよう、リモートによる議会運営も視野に入れて検討する必要性も感じました。

この度の研究フォーラムでは、本市議会での改革に参考になる事例も多くあり、特別委員会にて議論していきます。

議会改革

市民のご意見を募集します

より活発な議会活動と

なり手不足解消に向けて

村上市議会基本条例の一部を改正する条例制定【案】について 意見募集(パブリックコメント)を実施します

案 件 名	村上市議会基本条例の一部を改正する条例（案）
募 集 期 間	11月15日(水)～12月3日(水)
概 要	<p>本条例は、議会及び議員の活動原則等の基本的事項を定めるものです。今回は次の2項目について改正を検討しています。</p> <p>①「正副議長選挙における所信表明の機会確保」について、正副議長選挙を行う際に就任を希望する者に対し所信を表明する機会を設け、より活発な議会活動につなげるものです。</p> <p>②「議員報酬の審議方法」について、委員会又は議員が議会に提案する場合の具体的な手順として、明確な理由を付して提案することを定義づけるとともに、市民の直接請求や市長提案にも触れることで、委員会又は議員が提案することを前提としていたこれまでの条文の限定性を緩和するものです。</p>
意 見 を 提 出 する 人	<p>・市内在住の人 ・市内に勤務、通学している人</p> <p>・市内に事務所または事業所を有する個人および法人その他団体</p>
条 例（案）の 閲 覧 ・ 意 見 書 用 紙 の 入 手 場 所	<p>議会事務局または各支所地域振興課総務管理室</p> <p>※市ホームページでも閲覧・ダウンロードできます。</p>
意 見 出 書 方 の 法	<p>意見書（所定の様式）に住所、氏名、電話番号、意見を記入し、持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかの方法で提出してください。</p> <p>市ホームページの入力フォームから送信できます。</p>
提 出 先	<p>議会事務局または各支所地域振興課総務管理室</p> <p>○郵送：〒958-8501 村上市三之町1番1号 ○FAX：0254-53-3219</p> <p>○電子メール：gikai@city.murakami.lg.jp</p>

この人に インタビュー

県操法大会で雪辱の優勝

市消防団山北方面隊第2分団第2部
五十嵐 和茂さん (中継)

■自己紹介をお願いします

高校卒業後に地元消防団へ入団し、今年勤続30年表彰を受けました。現在は中継の消防団の部長を務めており、6年目となります。団員は12名で、いちばん若い団員が24歳、その他は30代から40代の団員が中心となっています。

集落の行事も消防団とほぼ同じメンバーが役員となっており、気心の知れた仲間と和気あいあいと活動しています。

■今年のポンプ操法競技会の成績は

今年も山北方面隊と郡市の大会で優勝、7月に十日町市で開催された県消防大会ポンプ操法競技会に出場し、小型ポンプ操法の部で優勝を果たしました。

県大会には3年間連続で出場しており、昨年は



練習の成果を出し切った納得の内容でしたが、残念ながら僅差での準優勝でしたので、今年の優勝の喜びはひとしおです。

団員の中から指揮者以下5名を選抜してチームを組み、4月から競技会に向けての練習を始めて、平日は毎晩練習を行いました。それぞれの仕事の都合で全員が揃わない時も多々ありましたが、団員が一丸となり練習を重ねた結果の県大会優勝となりました。



議会活動でのデジタル活用

8月26日



地方議会の多くでタブレット端末が導入され、議会運営の効率化やペーパーレス化が進められています。当市議会においてもタブレット端末の運用が始まっており、令和6年第2回定例会から試行、令和7年度から完全導入しています。

議会ではタブレット端末の有効活用による更なる会議の効率化や議案審議の深化に向けて、地域おこし協力隊の笠井雛乃さんを講師に、議員個々の操作能力の向上を図る講習会を実施しました。

令和7年 12月定例会のお知らせ(予定)

11月18日(火)	請願・陳情の提出期限(正午まで)
12月2日(火)	定例会初日(本会議)
4日(休)	
5日(金)	一般質問(本会議)
8日(月)	
9日(火)	総務文教常任委員会、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会
10日(水)	市民厚生常任委員会、一般会計予算決算常任委員会市民厚生分科会
11日(木)	経済建設常任委員会、一般会計予算決算常任委員会経済建設分科会
16日(火)	一般会計予算決算常任委員会
19日(金)	定例会最終日(本会議)

*この日程は変更されることがあります。
*開会時間は午前10時です。